

児童発達支援 事業所における自己評価結果

事業所名 こども支援センターえがお

公表日

R7年 3月 14日

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	14	1	子どもの特性によっては狭いと感じることがある。 活動スペースの配置や活動の進め方を工夫している。	こどもたちがより快適に過ごせる環境づくりのため、今後も工夫できる点を検討していきます。
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	12	4	利用児の支援ニーズに対応できるよう、職員配置を考慮しながら支援を行っている。また、放課後等デイサービスのスタッフとも連携し、センター全体で協力しながら支援を行っている。	一対一対応が増えると、見守りが十分でないと感じることがあるため、今後も、より適切な支援ができるよう、職員の配置や業務の工夫を検討していきます。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	15	0	視覚的な情報提示を活用し、こどもたちが見通しを持って安心して活動に取り組めるよう環境を整えている。	引き続き、お子さんの特性に応じた環境を整え、必要に応じて柔軟に対応できるようにしていきます。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	15	0		
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	15	0	集団活動を行うスペースのほかに、個別での支援や療育を行うための専用の部屋を設けており、必要に応じて使い分けができる環境になっている。	引き続き、お子さんの特性に応じた環境を整え、必要に応じて柔軟に対応できるようにしていきます。
	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	15	0	人事考課制度あり。	

業務改善	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	15	0		保護者向け評価の内容を真摯に受け止め、業務改善につなげていきます。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	15	0	年に2回職員との面談日を受け、業務内容や目標等についての意見を聞き、業務改善につなげている。	今後もスタッフが意見を伝えやすい環境を整え、より良い業務改善につなげていきます。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	15	第三者評価は受けていません。	現時点では、外部評価の実施予定はありませんが、引き続き内部での振り返りを重ねながら、支援の質の向上に努めていきます。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	15	0		引き続き、職員が研修に参加しやすい環境づくりを進めながら、学びの機会を確保していきます。
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4	11	令和7年3月末までに公表予定	公表に向けて準備を進めています。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	15	0		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	15	0		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	15	0		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	15	0		

適切な支援の提供	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	15	0		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	15	0		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	15	0	毎月、日案を考えているが、その際に前の月の活動も踏まえながら考えている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	15	0	個別活動内容は担当保育士が育ちに応じた内容を考え、利用毎に対応しています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	15	0	支援開始前には必ず打ち合わせを行い、前回での姿や課題を共有してから支援に入っています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	15	0	支援終了後に職員間で振り返りを行い、気づいたことを共有している。改善が必要な点については記録し、次回の支援に活かすようにしている。	送迎に出た職員の振り返り（意見）が聞けない場合があるため、意見を聞ける体制を作っていきます。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	15	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	15	0	モニタリングの際には、保護者や保育所等の先生方等、関係機関と連携し、評価を共有しながら、新計画を作成している。	引き続き、新計画は支援者間で評価を共有しながら作成していきます。

関係機関や	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	15	0	サービス担当者会議月の前月には日時調整の連絡が相談支援専門員よりあり、児童発達支援管理責任者が出席している。場合によっては担当者や専門職も出席している。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	15	0	顔の見える関係性作りにも専念し、お互いに連絡しやすい体制を整えている。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	15	0	保育所等とも情報共有を深めるため、可能な限り会議に参加してもらい、連携を図っている（会議開催月の前月に日時調整の連絡をし、できるだけ参加してもらえるようにしている）	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	15	0	移行支援会議での相互理解を図っている。 個別支援計画と専門職による計画、子育てファイルふくいっ子（サマリーシート）を作成し、移行支援機関に支援内容等を繋げている（保護者の同意を得てしている）。	
	28	（28～30は、センターのみ回答） 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	12	3	他の児童発達支援センターと看護師連絡会を行い、情報交換等を定期的で開催している。 自立支援協議会等で研修会等の開催検討し、質の向上を目指している。	他の児童発達支援センターと協議し、地域への取り組みを今後検討していきたい。 今後も、関係機関との連携を深め、地域全体で支援の質を高めていけるよう協議を進めていきます。

保護者との連携	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	12	4		現在、言語聴覚士、理学療法士、看護師が配置されており、職員が日々アドバイスを受けられる環境が整っています。職員が研修に参加できるように調整しながら進めています。業務の都合などで参加が難しい場合もあります。職員ができるだけ研修に参加できるよう、参加方法の工夫や業務調整を進め、支援の質の向上に繋げていきます。
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	13	2		自立支援協議会の子どもの事業所等連絡会や子育て会議に参加し、関係機関との情報共有や意見交換を行っています。
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	—	—		
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	3	12	併用通園児が多いため、固定した保育所等との活動はない。ただ、併用保育所等とは連携をとっている。	個々では交流があるが、センターとしての取り組みがないため、来年度以降取り組みの工夫を図ります。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	15	0	日々の記録をしっかりと取り、電話等でも伝達している。利用児の提供記録で利用児の個別療育内容等を伝えている。また、3カ月に1回、保護者の意向を聞き、保護者面談を開催している。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	11	4	掲示板にて研修などのお知らせをしている。研修は開催できていないが、保護者面談を通じ、考え方やかわり方等のアドバイスをを行っている。	現在、家族向けの研修は開催できていませんが、今後どのような形で実施できるか検討していきます。

保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	15	0	外国籍の方にはルビをふり分かりやすく説明している。 児童発達支援管理責任者が契約時に丁寧に説明している。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	15	0		
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	15	0		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	15	0	随時、電話での相談対応をしている。また、3カ月に1回、保護者面談を設け実施している（保護者の意向を聞いて実施している）。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	4	11		保護者同士が交流できる場を検討し、必要に応じて情報提供などの支援を進めていきます。また、きょうだい支援についても、どのような形で支援できるか考えていきます。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	15	0		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	15	0	緊急メール、フェイスブック、お便り等で発信している。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	15	0	新年度には必ず同意書を新しく取り直ししている。	

	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	15	0		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	11	地域の方を招く行事は行えていない。	地域とのかかわりを深める方法を検討し、可能な範囲で地域に開かれた事業運営を考えていきます。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	14	0		
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	15	0	法人内事業所と連携して訓練を行なっている。	火災訓練を毎月実施しているほか、防犯・水害・地震を想定した訓練も定期的に行っています。 放課後等デイサービスや法人内の事業所とも合同で訓練を実施し、緊急時に備えています。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	15	0	緊急時のマニュアルを作成し情報共有している。 常に確認できるように一覧をファイルしてある（送迎時にてんかん発作が起こることも想定し、緊急時対応できるようにしている）	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	15	0		
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	15	0		
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	15	0		

51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	15	0	ヒヤリの統計の分析結果から委員会を開き情報共有している。	
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	15	0	定期的な委員会の開催と研修を行っている。	今後も虐待防止研修を定期的に行い、虐待が起こらないようにしていきます。
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	15	0		今後も身体的拘束等適正化の研修を定期で行い組織として取り組んでいきます。